

2021年（令和三年）

3月26日（金曜日）

毎週（金）14:00発行

発行所 （一財）日本エネルギー経済研究所  
石油情報センター電話 (03) 3534-7411 (代)  
FAX (03) 3534-7422〒104-8581 東京都中央区勝どき1-13-1イヌビル・カドキ11階  
ホームページ <https://oil-info.iej.or.jp>

## ■ 概況

3/11～3/17のNYMEX・WTI先物市場は、64.60～66.02ドルの範囲で推移した。

3月18日は、前日の米国原油在庫の4週連続積み増し、石油製品在庫の積み増し報告に加え、需給ひっ迫観測への国際エネルギー機関(IEA)の懐疑的見解、さらに、欧州やインドにおける新型コロナ感染者の拡大、ドル高進行に伴う原油先物の割高感により、5営業日大幅続落、2週間ぶりの安値を付けた。4月限の終値は前日比4.60ドル安の60.00ドル。

週末19日は、前日の反動で、持ち高調整の買いや安値拾いの買いが入りやすく、6営業日ぶりに反発した。また、サウジアラビアのリヤド近郊の石油施設にドローン攻撃があったとの報道も地政学リスクの高まりを再認識させ、値上がり要因となった。なお、米国内で稼働中の石油掘削装置は前週末比9基増の318基となっている。4月限の終値は前日比1.42ドル高の61.42ドル。

週明け22日は、最近の安値による安値拾いの買いで、わずかながら続伸した。ただ、新型コロナ新規感染者の増加による欧州経済の停滞懸念も広がっており、上値は重かった。4月限の終値は0.13ドル高の61.55ドル。

23日は、仏・独における感染再拡大による都市封鎖の動き、欧州のワクチン接種の遅れなど、欧州の経済回復への懸念から、反落した。この日から取引の中心限月に繰り上がった5月限の終値は前日比3.80ドル安の57.76ドル。

24日のNYMEXのWTI先物原油は、スエズ運河での大型コンテナ船の座礁に伴う石油輸送への懸念により、大幅に反発した。また、同日発表の米国エネルギー情報局(EIA)の週間在庫報告によれば、原油在庫は市場予想に反する積み増し

であったが、価格には大きな影響はなかった模様。5月限の終値は前日比3.42ドル高の61.18ドル。

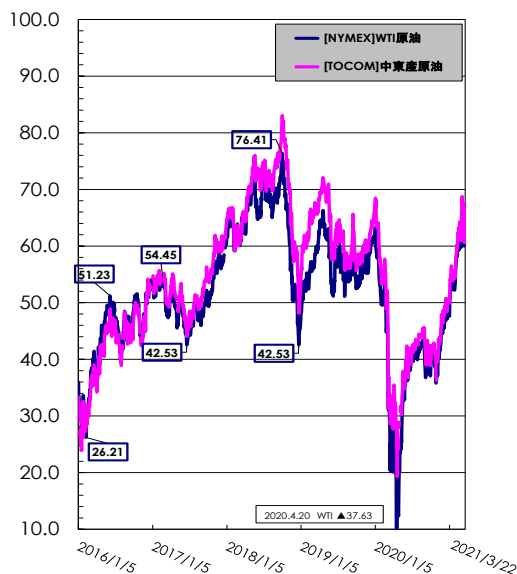
アジアの指標原油である中東産ドバイ原油/東京市場(5月渡し)は3月11日～17日の間66.50～68.20ドルの範囲で推移した。3月18日65.80ドル、19日60.90ドル、22日63.00ドル、23日63.00ドル、24日60.30ドルと推移した。

為替は3月11日～17日の間108.52～109.25円の範囲で推移した。3月18日108.97円、19日109.10円、22日108.91円、23日108.86円、24日108.64円で推移した。

そのような中で、3月22日時点の小売価格は、ガソリンが前週(3月15日)比2.4円の値上がり、軽油も同2.3円の値上がり、灯油は34円の値上がり(18%ベース)だった。ガソリンは17週連続の値上がり、軽油も17週連続の値上がり、灯油も17週連続の値上がりだった。この週(3月第4週)の原油コストは大きく値下がりし、次週の元売の卸価格はガソリン・軽油・灯油ともに、前週比1.5～2.0円の値下げとなった。

| 原油 |                       | 今週          | 前週比            | 前年比       |
|----|-----------------------|-------------|----------------|-----------|
| 需給 | 原油処理量 (千kl)           | 3/14 ~ 3/20 | 2,798 ▲ 51     | ▼ -       |
|    | トッパー稼働率 (%)           | "           | 72.7 ▲ 1.3     | ▼ -       |
|    | 原油在庫量 (千kl)           | 3/20        | 10,282 ▼ -7    | ▼ -       |
| 価格 | 中東産原油(TOCOM) (\$/bbl) | 3/22        | 62.41 ▼ -5.20  | ▲ 31.9    |
|    | WTI原油(NYMEX) (\$/bbl) | 3/22        | 61.55 ▼ -3.84  | ▲ 38.2    |
|    | 原油CIF単価 (\$/bbl)      | 2月下旬        | 56.43 ▼ -0.18  | ▼ -14.20  |
|    | ①原油CIF単価 (¥/kl)       | "           | 37,279 ▼ -9    | ▼ -11,369 |
|    | ②ドル換算レート (¥/\$)       | "           | 105.05 ▼ -0.33 | ▲ 4.45    |
|    | 外国為替TTSレート (¥/\$)     | 3/22        | 109.91 ▲ 0.15  | ▲ 1.91    |

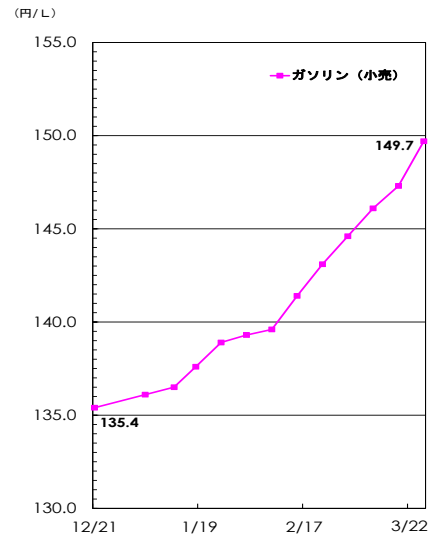
(\$/b)



(単位: 千kl、円/%)

| ガソリン |                            | 今週          | 前週比         | 前年比    |
|------|----------------------------|-------------|-------------|--------|
| 需給   | 生産                         | 3/14 ~ 3/20 | 941 ▲ 77    | ▲ -    |
|      | 輸入                         | "           | n.a. n.a.   | n.a.   |
|      | 出荷                         | "           | 781 ▼ -49   | ▼ -    |
|      | 輸出                         | "           | 91 ▲ 43     | ▲ -    |
|      | 在庫                         | 3/20        | 1,896 ▲ 70  | ▲ -    |
| 価格   | 業転 [陸上ローリー<br>4地区平均] (RIM) | 3/16 ~ 3/22 | 60.5 ▲ 1.1  | ▲ 19.7 |
|      | 先物 [期近物/終値] (TOCOM/東京湾)    | 3/16 ~ 3/22 | 57.2 ▼ -1.7 | ▲ 24.6 |
|      | (TOCOM/中部)                 | 3/22        | 58.8 ▼ -1.7 | ▲ 20.6 |
|      | 小売 [週動向] (資工庁公表)           | 3/22        | 149.7 ▲ 2.4 | ▲ 10.1 |

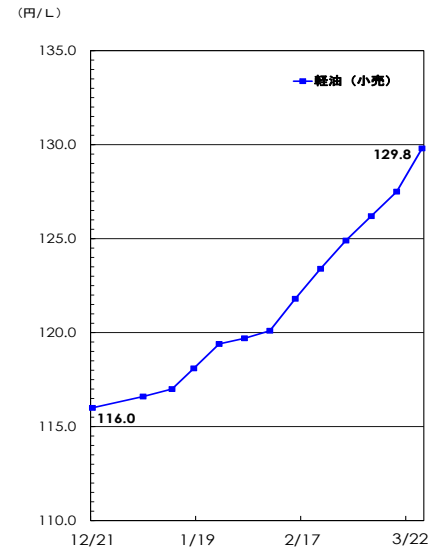
※業転、先物価格は税抜き価格



(単位: 千kl、円/%)

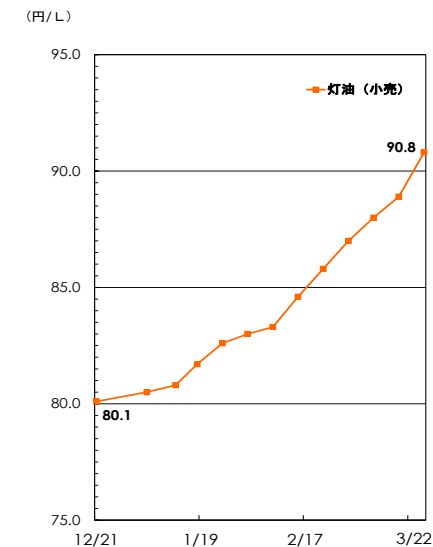
| 軽油 |                            | 今週          | 前週比          | 前年比    |
|----|----------------------------|-------------|--------------|--------|
| 需給 | 生産                         | 3/14 ~ 3/20 | 652 ▼ -39    | ▼ -    |
|    | 輸入                         | "           | n.a. n.a.    | n.a.   |
|    | 出荷                         | "           | 631 ▲ 17     | ▲ -    |
|    | 輸出                         | "           | 150 ▲ 48     | ▲ -    |
|    | 在庫                         | 3/20        | 1,286 ▼ -130 | ▼ -    |
| 価格 | 業転 [陸上ローリー<br>4地区平均] (RIM) | 3/16 ~ 3/22 | 62.5 ▲ 1.1   | ▲ 17.6 |
|    | 先物 [期近物/終値] (TOCOM/東京湾)    | 3/16 ~ 3/22 | 61.2 ▼ -1.0  | ▲ 12.8 |
|    | (TOCOM/中部)                 | 3/22        | - -          | -      |
|    | 小売 [週動向] (資工庁公表)           | 3/22        | 129.8 ▲ 2.3  | ▲ 9.2  |

※業転、先物価格は税抜き価格



(単位: 千kl、円/%)

| 灯油 |                            | 今週          | 前週比         | 前年比    |
|----|----------------------------|-------------|-------------|--------|
| 需給 | 生産                         | 3/14 ~ 3/20 | 307 ▲ 32    | ▲ -    |
|    | 輸入                         | "           | n.a. n.a.   | n.a.   |
|    | 出荷                         | "           | 231 ▼ -93   | ▼ -    |
|    | 輸出                         | "           | 0 ➡ 0       | ➡ -    |
|    | 在庫                         | 3/20        | 1,470 ▲ 76  | ▲ -    |
| 価格 | 業転 [陸上ローリー<br>4地区平均] (RIM) | 3/16 ~ 3/22 | 61.9 ▲ 1.0  | ▲ 18.0 |
|    | 先物 [期近物/終値] (TOCOM/東京湾)    | 3/16 ~ 3/22 | 57.4 ▼ -1.7 | ▲ 20.4 |
|    | (TOCOM/中部)                 | 3/22        | 58.5 ▼ -2.5 | ▲ 20.0 |
|    | 小売 [週動向] (資工庁公表)           | 3/22        | 90.8 ▲ 1.9  | ▲ 4.0  |



## ■ 関連情報

## 1 海外/原油

3月24日のNYMEXのWTI先物原油は、スエズ運河で日本船籍の大型コンテナ船が座礁し航路を塞いだため、多くのタンカーに滞船が発生しており、復旧には数日かかるとの見通しから、石油輸送への懸念により、大幅に反発した。また、同日発表の米国エネルギー情報局(EIA)の週間在庫報告によれば、原油在庫は前週末比190万バレル増と市場予想(同30万バレル減)に反する積み増しであったが、価格には大きな影響はなかった模様。5月限の終値は前日比3.42ドル高の61.18ドル、6月限の終値は同3.38ドル高の61.16ドル。

EIAによると、3月22日時点のガソリンの小売価格は、前週

比1.2セント値上がりの1ガロン2.865ドル(83.1円/ℓ)、ディーゼルは同0.3セント値上がりの3.194ドル(92.6円/ℓ)となった。ガソリンは17連続の値上がり、ディーゼルは20週連続の値上がりだった。

## 2 国内/製品需給 (1) 出荷

石連週報によれば、2021年3月14日～3月20日に休止したトッパー能力は61.0万バレル/日で、前週に対して0.0万バレル/日減少した(全処理能力は345.8万バレル/日)。

原油処理量は279.8万klと、前週に比べ5.1万kl増加。前年に対しては33.9万klの減少。トッパー稼働率は72.7%と前週に対して1.3ポイントの増加、前年に対しては7.4ポイントの減少となった。

生産は前週に比べて軽油、A重油が減産、その他の油種で増産となった。ガソリン/8.9%増、ジェット/5.1%増、灯油/11.6%増、軽油/5.7%減、A重油/8.9%減、C重油/1.5%増。今週のC重油の輸入は0.5万kl(前週比0.0万kl減)。軽油の輸出は15.0万kl(前週比4.8万kl増)。

出荷(輸入分を除く)は前週比でガソリン、灯油、A重油が減少、その他の油種で増加となった。前年比でガソリン、ジェット、灯油が減少となり、その他の油種で増加となった。ガソリンの出荷は78.1万kl(対前週5.9%減)と2週連続で減少した。ジェット9.0万kl(対前週44.1%増)、灯油23.1万kl(対前週28.7%減)、軽油63.1万kl(対前週2.8%増)、A重油20.6万kl(対前週12.3%減)、C重油19.2万kl(対前週1.7%増)。

(単位: 千KL)

|        | 今週<br>(3/14 ~ 3/20) | 前週<br>(3/7 ~ 3/13) | 前週比          |
|--------|---------------------|--------------------|--------------|
| ガソリン   | 781                 | 830                | ▼ -49 (-6%)  |
| ジェット燃料 | 90                  | 62                 | ▲ 28 (45%)   |
| 灯油     | 231                 | 324                | ▼ -93 (-29%) |
| 軽油     | 631                 | 614                | ▲ 17 (3%)    |
| A重油    | 206                 | 235                | ▼ -29 (-12%) |
| C重油    | 192                 | 189                | ▲ 3 (2%)     |
| 合 計    | 2,131               | 2,254              | ▼ -123 (-5%) |

※今週出荷量 = (前週末在庫 + 今週生産 + 今週輸入) - (今週輸出 + 今週末在庫)

## 2 国内/製品需給 (2) 在庫

3月20日時点の在庫は、軽油、C重油で取り崩しとなり、その他の油種で積み増しとなった。前年に対してはジェット、軽油、A重油が減少となり、その他の油種で増加となった。

ガソリンは189.6万kl、前週差7.0万kl増。前年に対しては12.6万kl多い。

灯油は147.0万kl、前週差7.6万kl増。前年に対しては7.9万kl多い。

軽油は128.6万kl、前週差13.0万kl減。前年に対しては18.5万kl少ない。

A重油は69.8万kl、前週差3.7万kl増。前年に対しては0.3万kl少ない。

C重油は179.1万kl、前週差4.3万kl減。前年に対しては2.3万kl多い。

(単位: 千KL)

|        | 今週<br>(3/20) | 前週<br>(3/13) | 前週比          |
|--------|--------------|--------------|--------------|
| ガソリン   | 1,896        | 1,826        | ▲ 70 (4%)    |
| ジェット燃料 | 779          | 777          | ▲ 2 (0%)     |
| 灯油     | 1,470        | 1,394        | ▲ 76 (5%)    |
| 軽油     | 1,286        | 1,416        | ▼ -130 (-9%) |
| A重油    | 698          | 661          | ▲ 37 (6%)    |
| C重油    | 1,791        | 1,834        | ▼ -43 (-2%)  |
| 合 計    | 7,920        | 7,908        | ▲ 12 (0.2%)  |

### 3 国内/製品卸売価格 (1) 元売会社 仕切価格改定動向

3月16日～22日の指標原油価格は前週(3月9日～15日)比で大きく値下がりし、為替レートはわずかに円安で、円建ての原油コストは大きく値下がりしたと見られる。

これを受けて、次週の大手元売卸価格は、ガソリン・灯油・軽油ともに、前週比1.5～2.0円の値下げとなった。

### 3 国内/製品卸売価格 (2) 業転価格・先物価格動向

3月16日～3月22日の製品スポット市況は、3月9日～15日平均と比べ、先物の各油種の取引を除き、その他の取引で値上がりした。

直近(3/16～3/22)の陸上スポット価格平均値(千葉・川崎・中京・阪神の4地区の陸上ラック価格)は、前週比で、ガソリンは1.1円の値上がり、灯油も1.0円の値上がり、軽油も1.1円の値上がりだった。直近週(3/16～3/22)において、ガソリンは113～115円台で大きく値上がり後値下がり、灯油は61～62円台で大きく値上がり後値下がり、軽油は61～63円台で大きく値上がり後値下がりして推移した。

東京湾渡しの海上スポット平均価格は、直近週(3/16～3/22)に、前週比で、ガソリンは1.3円の値上がり、灯油は0.2円の値上がり、軽油は1.5円の値上がりだった。海上スポット価格は、同期間(3/16～3/22)に、ガソリンは115～116円台で大きく値上がり後値下がり、灯油は58～60円台で値上がり後大きく値下がり、軽油は62～64円台で大きく値上がり後ほぼ横ばいで推移した。

先物価格の平均は、前週比で、ガソリンは1.7円の値下がり、灯油は1.7円の値下がり、軽油は1.0円の値下がりだった。先物価格は、同期間(3/16～3/22)に、ガソリン108～112円台で大きく値下がり後値上がり、灯油55～58円台で大きく値下がり、軽油59～62円台で出入り後値下がりして推移した。

| (RIM)                      |                  | (単位: 円/ℓ)      |               |       |
|----------------------------|------------------|----------------|---------------|-------|
| ス<br>ポ<br>ッ<br>ト<br>価<br>格 | 陸上ローリー<br>4地区平均] | 今週 (3/16～3/22) | 前週 (3/9～3/15) | 前週比   |
|                            | レギュラー            | 60.5           | 59.4          | ▲ 1.1 |
|                            | 灯油               | 61.9           | 60.9          | ▲ 1.0 |
|                            | 軽油               | 62.5           | 61.4          | ▲ 1.1 |

| (TOCOM)          |                | (単位: 円/ℓ)      |               |        |
|------------------|----------------|----------------|---------------|--------|
| 先<br>物<br>価<br>格 | 期近物/終値<br>[平均] | 今週 (3/16～3/22) | 前週 (3/9～3/15) | 前週比    |
|                  | レギュラー          | 57.2           | 58.9          | ▼ -1.7 |
|                  | 灯油             | 57.4           | 59.1          | ▼ -1.7 |
|                  | 軽油             | 61.2           | 62.2          | ▼ -1.0 |

※上記価格は税抜き価格

| 参考値 (3/16～3/22実績値) |       | (単位: 円/ℓ) |        |  |
|--------------------|-------|-----------|--------|--|
| 油種                 | 現物    | 先物        | 平均     |  |
| ガソリン               | ▲ 1.1 | ▼ -1.7    | ▼ -0.3 |  |
| 灯油                 | ▲ 1.0 | ▼ -1.7    | ▼ -0.3 |  |
| 軽油                 | ▲ 1.1 | ▼ -1.0    | ▲ 0.1  |  |
| A重油                | ▲ 1.9 |           |        |  |

(出所) 現物: RIM社陸上ローリー4地区平均価格

(千葉・川崎・中京・阪神)

先物: TOCOM京浜地区海上バージ渡し平均価格

### 4 国内/製品小売価格

3月22日時点のSS店頭価格は、ガソリンが前週(3月15日)比2.4円高の149.7円、軽油も同2.3円高の129.8円、灯油は18ℓベースで同34円高の1,635円(1ℓベースでは同1.9円高の90.8円)。ガソリンは17週連続の値上がり、軽油も17週連続の値上がり、灯油も17週連続の値上がりだった。

ガソリンについて、都道府県別には、値上がりは全47都道府県、横ばい・値下がりはない。全国最安値は143.4円の徳島県(前週比2.1円高)、その次に安かったのは144.5円の埼玉県(同1.4円高)、最高値は157.6円の鹿児島県(同2.4円高)だった。最も値上がりしたのは同4.2円高の福島県(151.8円)で、横ばいと値下がりした県はなかった。

今週(3月16日～22日)は、指標原油価格が大きく値上がりし、為替レートはわずかに円安であったが、円建ての原油コストは大きく値上がりしたと見られる。次週(3月25日～31日)適用の元売の卸価格は、ガソリン・軽油・灯油ともに、前週比1.5～2.0円の値下げとなった。次回調査時(3月29日)のガソリンの小売価格は小幅な値下がりが見込まれる。

|                  |       |           |           |       | (単位: 円/ℓ) |       |
|------------------|-------|-----------|-----------|-------|-----------|-------|
| (資工庁公表)<br>[週動向] |       | 今週 (3/22) | 前週 (3/15) | 前週比   | 直近高値      |       |
| 小<br>売<br>価<br>格 | レギュラー | 149.7     | 147.3     | ▲ 2.4 | 08/8/4    | 185.1 |
|                  | 灯油    | 90.8      | 88.9      | ▲ 1.9 | 08/8/11   | 132.1 |
|                  | 軽油    | 129.8     | 127.5     | ▲ 2.3 | 08/8/4    | 167.4 |

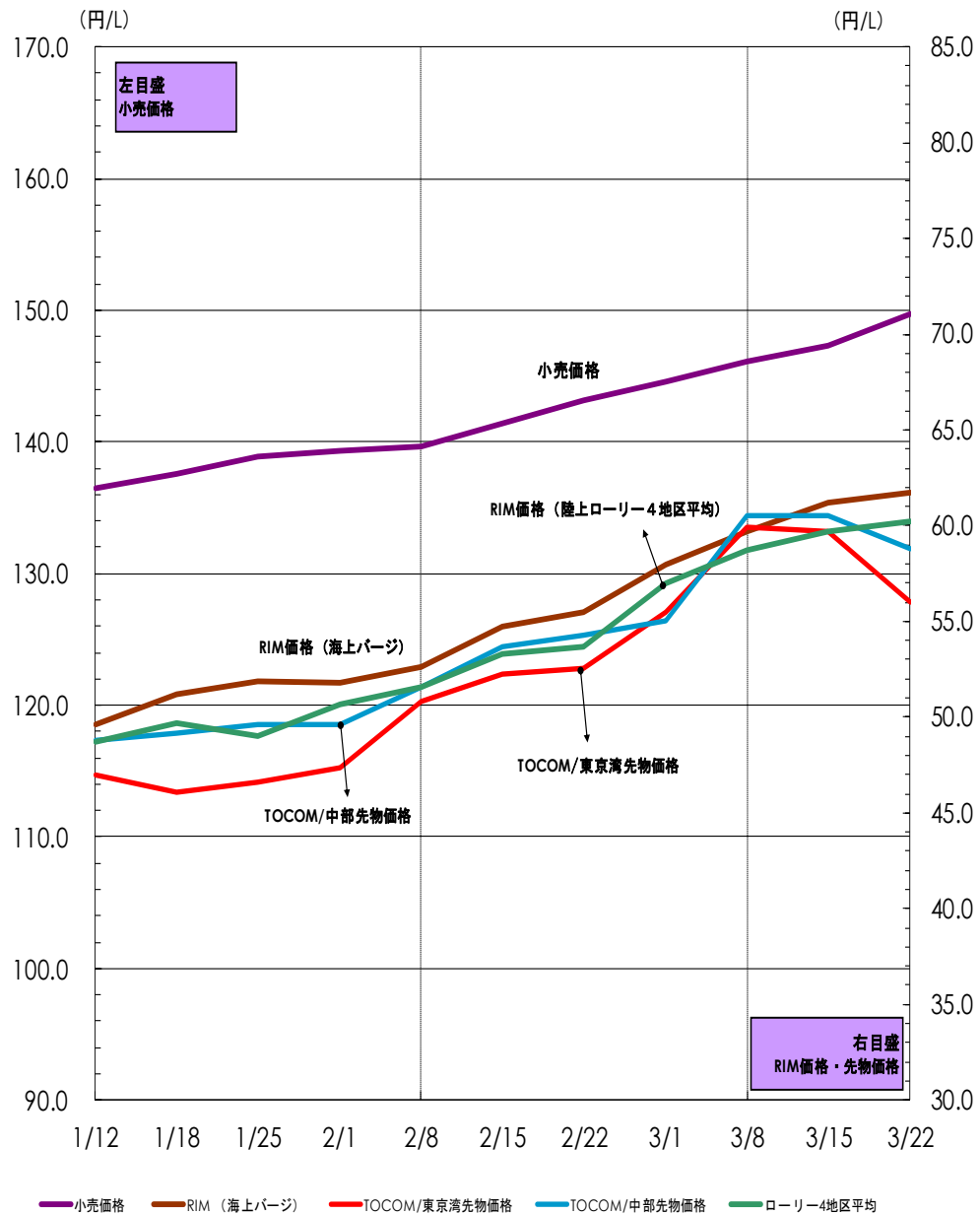
※ 現金一般価格の全国平均値 (消費税込み)

07年4月以降 2,000店舗を対象。

直近高値とは2003年10月以降の最高値。

# ガソリン価格推移

[2021/1/12 ~ 2021/3/22]



(注)①「小売価格」は消費税込みの価格 RIM価格・TOCOM先物価格は税抜き価格

②RIM価格(陸上ローリー)は4地区平均価格

## ■ お知らせ

本レポートは当センターのホームページ (<https://oil-info.ieej.or.jp>) にも掲載しています。  
次回(2021第1号)の公表は、4/2(金) 14:00 です。

「セルフSS出店状況」(令和2年3月末現在)は、8月26日(水) 14:00に公表しました。当センターのホームページをご覧ください。

### 本レポートのご利用について

本レポートについて、テキスト、グラフィックス及びその他の情報(以下、併せて「ドキュメント」)に関わるすべての知的所有権は、一般財団法人日本エネルギー経済研究所石油情報センター(以下、当センター)又は当センターヘドキュメントを提供している第三者へ独占的に帰属します。

当センターの事前の書面による承諾を得ることなく、ドキュメントを転用、複製、改変等の一切を固く禁じています。

また、ドキュメント内容に関しては万全を期していますが、その内容の正確性および安全性を保証するものではありません。

### 「ウィークリー オイル マーケット レビュー」とは

平成16年5月に経済産業省資源エネルギー庁資源・燃料部石油流通課 主催の「石油製品市場動向研究会」が取りまとめた中間報告で、「わが国石油産業における市場機能、価格発見機能が更に強固なものとなることが望まれるとともに、中期的な課題として、石油産業において確立していく市場機能、価格発見機能に基づく合理的な価格認識及びそれを踏まえた自己責任の下での経営判断の必要性について、石油産業関係者の認識が更に深まることにより、わが国の基幹産業である石油産業全体としての合理性、活力が一層高まることを期待したい。」と提案されています。

当センターでは、これを受けて石油連盟、全国石油商業組合連合会をはじめ関係機関等の協力を得て、石油関係者、企業の経営者層(特に給油所経営に携わる方々)から一般消費者の方々に対し、原油・石油製品需給や価格動向を的確に理解するツールの一つとして、「ウィークリーオイルマーケットレビュー」を平成17年5月より定期的に発信しています。

### 本レポート掲載データの出所について

#### ①【原油・石油製品需給】〈石連週報〉

石油連盟(石連)「原油・石油製品供給統計」週報データを千KL単位に換算して採用。

「出荷」は当センターの推計。

#### ②【原油・先物価格】〈WTI原油、中東産原油〉

WTI原油は、ニューヨーク商業取引所(New York Mercantile Exchange: NYMEX) WTI原油先物の期近物・終値を採用。

中東産原油は、東京商品取引所(The Tokyo Commodity Exchange: TOCOM) 中東産原油の期近物・終値を採用。 ※「二番限(翌月限)」

中東産原油は、ドバイ原油及びオマーン原油の平均価格を指標としている。為替換算レートとして、三菱東京UFJ銀行発表TTM(Telegraphic Transfer Middle rate: 中値)を採用。

原油CIF単価は、財務省貿易統計「原油・粗油平均CIF単価」(旬間値)を基に、石油連盟が試算したドル表示の参考値を採用。

#### ③【国内製品・元売仕切価格】

元売仕切価格は、元売会社(一次卸)と系列特約店など(二次卸)との間で売買される卸価格。

元売会社は、平成22年4月以降、現行の新価格体系を見直し、原油や製品相場、他社仕切りなどの動向を総合的に判断し、具体的方針を決める方式に変更。さらに平成26年6月以降、原油コストをより重視する方式に変更している。

#### ④【国内製品・業転価格】〈RIM業転〉

国内陸上ローリー価格は、リム情報開発株式会社(RIM)「LORRY RACK・レポート」の千葉、川崎、中京、阪神の4地区の平均値を採用(いわゆる4RIM価格とは異なる)。

#### ⑤【国内製品・先物価格】〈TOCOM〉

TOCOM 東京湾 及び中部石油製品期近物・終値を採用。

TOCOM東京湾は京浜地区海上バージ渡し価格(平均値)、TOCOM中部は中部地区陸上ローリー渡し価格(平均値)。

#### ⑥【国内製品・小売価格】〈週動向調査〉

約2,000 SSを対象に週次ベースのSS店頭における店頭現金価格の全国平均値を採用(資工庁公表)。原則として、毎週(月)時点の価格を調査し(水)14:00に公表(資源エネルギー庁-HPIに掲載)。